

図書館だより

名寄市立大学
2011.11.1
No.3

巻頭言

児童学科 鹿嶋桃子



「なにを今さら」と言われるかもしれないが、知識の源泉が書物オンリーの時代は終わったと、ひしひしと実感している。最近、twitter を始めた私にとっては新鮮な感激なのだ。もちろん分野によるが、twitter をはじめネット上では新聞と比べものにならないほど多様な情報が市民やジャーナリストによって流されている。今年起きたチュニジア、リビア、エジプトでの民主化運動のきっかけになったのは、Facebook や twitter のような SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に拠るところが大きかったとされる。人々はネット上で情報を交換し、議論し、デモを呼びかける。そうして現実社会にネット社会が循環する。そんな時代だ。

学術生活においては、本学にも導入された EBSCO に代表されるオンラインデータベースにより、英文雑誌の大半を検索、ダウンロードできる。

学生の皆さんに身近な例で言えば、電子辞書である。私が高校生の頃は、重たい辞書を自転車のかごに入れて、通学したものだ。

そうは言っても、書物には電子媒体に変えられない役割がある。電子化されていない貴重な資料は山ほどある。最新刊だって、電子化には限界がある。購入する時も本屋に行けば、手にとって直接目で見て確かめられる。人間のブラウザは視界が許す限り広がっている。

和洋折衷ならぬ電紙折衷の時代、か。電子媒体・紙媒体、各々の長所・短所を見極め、必要な情報を取捨選択し、知り得た情報は必要あれば自ら twitter 等で簡単に発信できる。こう書くと、何だか PC だけに軍配が上がっているかのように聞こえるかもしれないが、そうではない。ネット時代にあっても、大事なことは情報を鵜呑みにしないこと。そのためには、自ら労して調べ、直接人に尋ねる／伝えるというシンプルな行為を継続しなくてはならない。ゆえに、情報や知識を老若男女分け隔てなく市民に無料で提供する図書館の存在は、文字通り人々の生きる糧として、今日その役割を増しているといえよう。



Science Cafe

第1回を開催しました。

講師：青木 紀学長

テーマ：貧困、社会的公正、そして、新学科構想

10月26日、本学図書館初の試みとなる、サイエンスカフェを開催しました。記念すべき第1回ですので、青木紀学長にご自身の研究について、更には新学科構想と幅広いテーマで語っていただきました。

貧困問題、特に貧困の世代的再生産という問題に取り組んできた過程について、その方法論や著書・学術雑誌『貧困研究』発刊の経緯に触れ、研究が意味を持つためには誰もやっていない分野でいろんな発想で取り組む必要性を強調されました。

また、北海道の高校生の進学率などの実態を踏まえた上で、本学は単に専門職養成だけではなく、社会システムを変えるほどの役割を持つ新しい「社会保育学科」設置をめざしたい、と新学科構想を熱く語られました。



講演後はフロアから、「青木学長にとっての貧困の定義は？」「貧困の対局にある“豊かさ”とは？」などの質問があり、活発な意見交換がありました。

50名を超える学生・教員が集い、予定時間をオーバーしての交流となりました。

開催後のアンケートでは、学生からは「ふだん、学長のお話を聞く機会がなかったので、よかった」「興味のあるテーマだったので、とても勉強になった」、また、教員からは「このような積み重ねで研究交流が深まっていくことに期待したい」等の声が寄せられました。

図書館では、今後もサイエンスカフェを実施する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、ご自身の研究をお話くださる先生も大募集！



- 青木学長の著作は本館・分館両方にあります。
- 雑誌『貧困研究』は分館にあります。



★サイエンスカフェのためにコーヒーマーカー購入！市内B店のお菓子も用意。「本当にコーヒーとお菓子が出て、大満足でした」という感想もありました。

卒論締め切りが一ヶ月後に迫った、社会福祉学科4年生に、聞きました。



井代遥さん

Q:どんなテーマですか？何故それを選びましたか？

A:視覚障害者のための録音図書に関することです。1年生の時から、ボランティアで録音図書の活動に加わっていたので、関心のあるテーマでした。

Q:まず、何から始めましたか？

A:3年生の終わりに、資料をダウンロードしまくりました。印刷枚数の制限があるので、余っていたのを使い切りました！

Q:着地点は見えましたか？

A:それが…狭い分野だと思っていたのに、資料を集めているうちにどんどん広がって、どこに着地しているものやら(笑)。あと一息どころか、二息三息って感じです。

Q:何が一番大変でしたか？

A:録音図書に関する制度の変わり目にあっただので、資料の選択に注意が必要だったり、公共図書館と点字図書館のスタンスの違いなどに、紛らわしい点がありました。

Q:本学図書館は役に立ちましたか？

A:もともとこの分野は出版量が少ないので、図書がありませんでした(-_-)。でも、1冊リクエストで入れてもらいました(^_^)v



飛弾野まりさん

Q:どんなテーマですか？何故それを選びましたか？

A:高齢者福祉施設における認知症の方に関することです。3年生の時の施設実習で関心を持ちました。お年寄りと話してみると何でも知っていて尊敬できましたし、実習がとても楽しかったんです。お年寄りが好きみたいです♡

Q:まず、何から始めましたか？

A:認知症に関する本を読みまくりました。その後、施設を訪問して、調査などもしました。快く協力していただけて、助かりました。

Q:何が一番大変でしたか？

A:今です!!(笑) 自分なりの仮説もある程度実証できたし、調査もうまくいったのに、文章が…。文章を書くのって、難しいですね～

Q:本学図書館は役に立ちましたか？

A:文献を取り寄せてもらいました。また、認知症の図書はけっこう新刊が次々と入って、助かりました。

Q:後輩へのアドバイスがあれば。

A:文を思いついたらすぐ書いとけ！ですかね～文章をひねり出すのはけっこう大変なので、ほんと。



藤田航介さん

Q:どんなテーマですか？何故それを選びましたか？

A:大きく言えば里親制度、ですけど、その発展型の小規模住居型児童養育事業のファミリーホームに焦点をあてました。もともと養護施設に関心があって、施設見学で更に気持ちが向かいました。

Q:まず何から始めましたか？

A:ひたすら論文や記事を読みました。その分野で自分なりの第一人者を見つけたので、その人の書いたものを徹底的に読みました！更にその人が引用した文献と、広げていきました。

Q:苦労したことは何ですか？

A:それが、意外にも卒論は楽しいです(笑) 国試の勉強とか平行してやらなきゃいけないのでそれはたいへんですけど、卒論は楽しいです!!

Q:本学図書館は役に立ちましたか？

A:僕の分野は古い資料も必要だったので、児童養護関連の復刻版全集をリクエストしたら、ポンと買ってくれました。あと、T先生の研究室は古い資料の宝庫で、とにかくすごいです。



答えてくださったみなさん、ありがとうございました。4年生の健闘を祈ります。



10月27日～11月9日は読書週間です。

テーマは「信じよう、本の力」

「人々の希望を奪い去った大震災一。失ったものはもう戻ってこないけれど、本には人を元気づけたり、人の悲しみに寄り添う力がある」という思いをこめたテーマだそうです。

読書週間ということで、

★本館では、『神様のカルテ』『ツレがうつになりまして』など最近話題になった映画の原作や関連する図書・DVDなどを展示しています。

★分館では東日本大震災以降に発行された関連図書を展示しています。改めて、この8か月を振り返ってみましょう。被災地も冬を迎えますね。

お知らせ

トライアル中

①「**聞蔵ビジュアルII**」のオプションコンテンツを利用できます。

- 人物データベース
- 歴史写真アーカイブ
- 明治・大正紙面データベース
- 昭和(戦前)紙面データベース

朝日新聞のホームページ：asahi.com では、聞蔵の活用事例も紹介されています。

☞こちらのトライアル期間は11月1日～12月31日

②「**ジャパンレッジ・プラス**」の全コンテンツが利用できます。

→百科事典・辞書・ニュースなどを集積した日本最大の知識データベースです。『週刊エコノミスト』『江戸名所図絵』など多彩なコンテンツを集めています。

☞こちらのトライアル期間は11月1日～11月30日

③「**CINAHL Plus with Full Text**」

→看護系文献のフルテキストデータベースです。

☞こちらのトライアル期間は11月1日～12月31日

④「**SocINDEX with Full Text**」

→社会学分野のフルテキストデータベースです。

☞こちらのトライアル期間は11月1日～12月31日

⑤「**Academic Search Premier**」

→学術研究分野を網羅する世界最大級の雑誌論文全文データベースです。

☞こちらのトライアル期間は11月1日～12月31日

学内のパソコンから利用が可能です。図書館ホームページより、アクセスしてください。



★編集後記★

秋が深まり、色づいた広葉樹がきれいでしたが、それも散り始めましたね。雪が降るのも近いようです。秋は駆け足で通り過ぎます。

卒業論文や看護研究・国家試験と、学部4年生の皆さんはまさに正念場。児童学科では卒業公演の準備で忙しくなりますね。体調管理を万全に、頑張らしましょう。



図書館だより 2011年第3号
2011年11月1日発行
名寄市立大学図書館運営委員会
〒096-8641
名寄市西4条北8丁目
名寄市立大学図書館

